

社会人特別選考

小論文・筆記・面接試験あり

【文学部(日本文学科・哲学科)】※文学部中国文学科・史学科・神道文化学部、法学部法律学科 法律専攻・政治専攻、経済学部は、公募制自己推薦(AO型)に含めて募集(P.015～020参照)。

出願期間
(消印有効)

令和7年10/6(月)～10/10(金)

試験日

11/9(日)

合格発表日

11/19(水)

入学手続期間
(消印有効)

11/19(水)～11/26(水)

出願資格・選考方法

【出願資格】

以下(1)(2)両方を満たす者。

- (1) 一般選抜入試の出願資格(P.008)に準ずる。
- (2) 令和8年4月1日現在で満22歳以上の者。就業経験は問わない。ただし、令和8年3月卒業見込み者および高等学校卒業程度認定試験合格見込み者の場合は、社会人経験を有すること。

【選考方法】

文学部 日本文学科

- ① 志望理由書(事前提出、700～800字)
※入学試験要項で指定する古語辞典のみ持ち込み可。
- ② 筆記試験(古文を読んだの論述、全体で1,000字程度、90分)
- ③ 面接試験(約20分)

日本文学科での勉学・研究に対する目的意識・修学意欲などについての面接を行う(古典の基礎知識を含む)。

※筆記・面接試験の内容は公募制自己推薦(AO型)に準ずる(P.015参照)。

文学部 哲学科

- ① レポート(800字程度)および自己推薦書(900～1,000字)。
※いずれも出願時提出。内容は公募制自己推薦(AO型)の第1次選考に準ずる(P.017参照)。
- ② 志望理由書(事前提出、700～800字)
- ③ 小論文試験(1,000字程度、90分)
あらかじめ次の課題図書2冊のうち1冊を選択して読んでいることを前提とした試験を行う。課題図書は、試験当日2冊とも持ち込み可とし、解答に使用する図書は問題を見た後で決定してよい。なお、図書に書き込みをすること、頁を折り曲げることは可とするが、別紙を持ち込むこと、付箋を貼ることは認められない。
《課題図書》
E.トウーгентハットほか『ぼくたちの倫理学教室』(平凡社新書)
伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)
- ④ 面接試験(約20分)
大学での学問・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。
※小論文・面接試験の内容は公募制自己推薦(AO型)に準ずる(P.017参照)。